

「県民党」、コロナも追い風に

140万 最多得票 の衝撃 21知事選



通勤する人に手を振る熊谷俊人氏(中央)と神谷俊一氏(右)、立憲民主党県連選対委員長の奥野総一郎衆院議員=17日、千葉市若葉区

県庁で28日にあった知事選の当選証書授与式。過去最多の140万票を得て初当選した熊谷俊人氏(43)は「県民の付託を重く受け止めている」と心境を語り、「新型コロナウイルス対策や危機管理は空白が許されない。速やかに対策が打てるようにしていきたい」と意欲を見せた。

「新型コロナウイルス対策や危機管理は空白が許されない。速やかに対策が打てるようにしていきたい」と意欲を見せた。

常任、自民党の先手を打ち続けた。昨年9月、自民が知名度の高いソウル五輪金メダリ

ストの鈴木大地スポーツ庁長官(当時)を知事候補として擁立する動きが報じられると、すかさず自身の立候補の意向をにじませて選挙戦に名乗りを上げた。

初めての知事選と千葉市長選の同日選に持ち込む。市長選に立候補した元副市長の神谷俊一氏と街頭演説するなどし、地盤の千葉市での得票を固めた。

さらに、県と市町村との連携強化を掲げ、県政史上

名度不足を補うため、党本部推薦を決めた。一方、熊谷氏は立憲民主党の表だった全面支援を受けず、県連

「県民党」を演出した。このため、立憲だけでなく、日本維新の会の県組織、公明党や自民の一部の国会議員らの幅広い支援を得ることができた。立憲の

直前まで市長職
コロナ禍も追い風に交えた。コロナ対応を理由に、告

示前日まで市長職にとどまり、発信力を維持。行政総験をアピールし、危機下で支持を深めた。

衆院選は不透明
選挙中、熊谷氏が街頭に立つ際には、立憲の県内国会議員がそれぞれの地元で応援演説に立った。ある立憲国会議員は「最初と最後に熊谷さんを紹介し、途中の半分以上は国政のことを訴えた。多くの有権者が立ち止まって聞いてくれた」と、熊谷氏の人気が衆院選につながることの期待をに

勢拡大へは必ずみをつけた

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。

た。